

男同士の集いも楽しいよ

「びんころ男」会 野菜の苗植え付け

仲間づくりや、自分たちでやりたいこと、を楽しんでいる高齢男性の集まり「びんころ男会」は、三日、守山福祉会館小一の花壇の一部を借りた畑に野菜やハーブの苗を植え付けた。

同会は昨年九月に発足し、現在の会員は六十八十代の二十五人。区社会福祉協議会が市から受託して行っている「高齢者」の男性参加者が中心になり立ち上げた。

会の名称は、元気に過ごして寝たきりにならない「びんびんころり」を指すことから。会長や代表といった役職者を決めず、料理や体操、古墳散策ほか自分たちでやりたいことを月一回集まって楽しんでいる。

今回植え付けたのはトマトやサツマイモ、パジャなど約五十本で会員が

晴さん(セシール小幡北)は「男同士の集まって初めは話ができない。でも、だんだんとできるようになるから楽しい。苗が育ち、皆さんに食べてもらえれば」と笑顔。収穫物は地域の給食サービスが集う食事会へ提供される予定になっている。



ホットから取り出した苗を畑に植え付ける会員の姿

同会では、六十歳以上の男性を対象に新しい会員を募集中。会費なし(ただし、活動に必要な場合は実費負担)。問い合わせ・申し込みは守山区社会福祉協議会へ(758)20111へ。

作品展「魔法の美術館2014」
来月4日から、公反屋至美術館